

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	2	保育所費	228

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I : 事業概要

施策事業名	公立保育所保育
事業目的	公立保育所の管理・運営を行う
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 保育所における保育と認定こども園における保育及び幼児教育を実施する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○保育所総務事務 ○保育所管理 0歳から就学前までの乳幼児を保育するため公立13保育園を運営管理 ○保育所給食 子どもの健やかな発育・発達をめざし、子どもの食事・食生活を支援するため給食提供 ○保育所営繕 子ども未来園の施設・設備等の営繕工事施行 3歳未満児の保育環境整備実施 ○保育所広域入所 市内保育所の開園時間で対応できない場合等の理由により、市外保育所を利用する者への対応 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理業務委託料 149,028,000円 ・光熱水費 38,700,320円 ・総合設備管理業務一括委託料 (R6~R8) 12,097,800円 ・羽黒南・城東第2子ども未来園未満児室改修工事設計業務委託料 1,815,000円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所の運営、維持管理について適切に実施できた。 ・保育園入園申込に伴う利用調整等を適切に実施できた。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

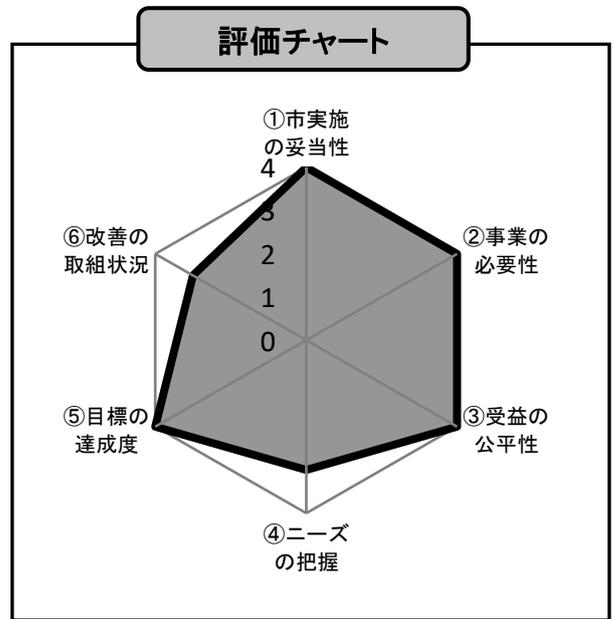
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
保育所総務事務	4,022	387	3,635	90%	3	3	3
保育所管理	125,302	32,208	93,094	74%	3	3	3
保育所給食	242,453	68,989	173,464	72%	2	3	3
保育所営繕	14,164	1,479	12,685	90%	4	4	3
保育所広域入所	28,346	17,744	10,602	37%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	414,287	120,807	293,480	71%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		469,654	414,287	455,480
財源内訳	国県支出金	101,909	27,741	24,063
	地方債	6,700	0	21,500
	その他	88,669	93,066	109,014
	一般財源	272,376	293,480	300,903
一般財源の割合		58%	71%	66%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき事業を実施
②事業の必要性	4	保育園は、就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わり保育を実施する施設であり継続する必要がある。
③受益の公平性	4	保育を必要とする世帯の多くがその恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	第1期犬山市子ども計画策定時においてアンケート調査を実施し、ニーズを把握している。
⑤目標の達成度	4	保育所運営を適切に実施できた。
⑥改善の取組状況	3	保育所運営を適切に実施できた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	同一月内における、給食費欠食の取扱いの見直しを実施。 (1ヶ月単位での欠食対応から、一定要件に合致した場合は、日割り対応を可能とした)
令和7年度に見直しを実施している事項	給食調理業務委託事業について、令和7年度で3年間の終期を迎えることから、令和8年度以降3年間の長期継続契約に向けた予算計上等準備を行う。その際、令和8年度に羽黒及び羽黒北子ども未来園を閉園とすることから、委託事業者が請け負う実施施設の割振りの見直し。
今後見直しを検討する事項	給食調理機器更新計画の検討

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 子ども未来園施設の老朽化 保育士の確保 3歳未満児保育ニーズへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども未来園施設整備10ヶ年計画(改訂版)」を踏まえた施設整備の対応 (仮称)新羽黒保育園の令和8年4月開園に伴う保育士の配置の再検討 民間保育所運営の活用も含めた保育ニーズへの対応の検討

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	2	保育所費	228

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I：事業概要

施策事業名	子ども未来センター
事業目的	幼児教育支援、子育て・親育ち支援の機能を備え、乳幼児期を生涯教育のスタートと捉え、教育部局、福祉部局といった関係機関や私立保育園、幼稚園との連携を図るとともに、家庭・地域の教育力・子育て力の向上を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 児童の最善の利益を追求し、幼保小の連携を推進する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○子ども未来センター運営 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と学校教育との連携 ・幼児教育の充実に向けた事業 ・私立幼稚園・私立保育園との連携 ・家庭の子育て・教育力を養う「親育ち」に関する運営協力 ・関係機関への情報提供 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 60,000円 ・子ども未来センター発達支援相談員謝礼 753,500円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と学校教育との連携事業の実施により双方の保育内容、教育K内容を理解しあうことができた。 (幼保小合同研修会・小学1年生の情報交換・幼保小担任連絡会等実施) ・子どもの発達相談支援事業の実施により専門家の助言を受けながら子どもへの適切な支援を園や学校に対し行うことができた。 ・子育て支援に関わる事業として「子育てフォーラムIN犬山」を開催：令和6年度のテーマは「ヤングケアラーについて」とし、専門家による講演を実施した。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

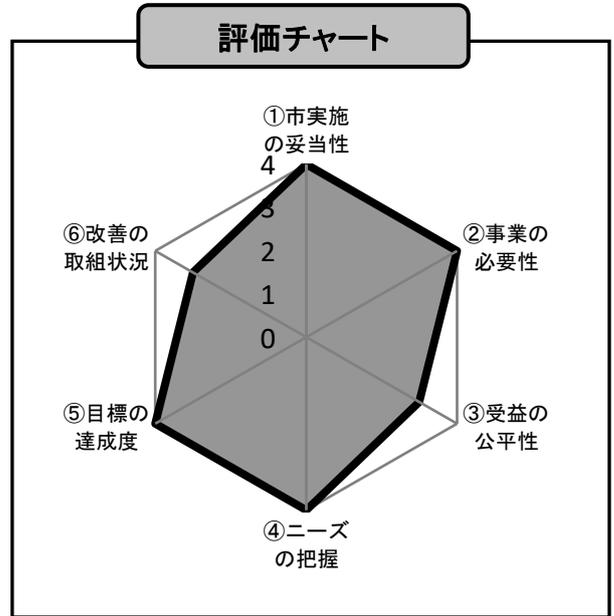
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
子ども未来センター運営	953	0	953	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	953	0	953	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		928	953	1,011
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	928	953	1,011
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	健全な子どもの育成のため、幼児保育・教育から学校教育へ連続性のある支援や指導を實踐できるように、関係機関の連携調整を行う必要がある。
②事業の必要性	4	各事業の連携について専門的に行うために必要な事業である。
③受益の公平性	3	幼稚園・保育園から小学校への連続的な子どもの育ちや学びを保障するための調整の役割を担うとともに、教育や心理の専門家の指導や助言を受け、子どもへの支援や保護者支援に繋げていくことから、多くの子育て世帯を対象とする事業である。
④ニーズの把握	4	各事業ごとにアンケートを実施し検証できている。 保健センターの保健師や学校教員、保育者から情報を得て把握できている。
⑤目標の達成度	4	事業は計画に基づき実施できた。
⑥改善の取組状況	3	各関係機関と連携し、事業を進めていく。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	幼保小合同研修会により多くの教員、保育士が参加し、幼保小の接続についての学びが深められるよう、開催日程の見直しをした。
令和7年度に見直しを実施している事項	小学校の教員が、幼稚園、保育園の研修会への参加、または保育参観実施。 幼保小担任連絡会のあり方を検討する。
今後見直しを検討する事項	子どもの発達支援相談の実施状況と相談ニーズとの整合性、課題の抽出。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
幼保小のさらなる連携、接続のあり方	幼稚園、保育園と小学校の相互理解を深められるよう、情報交換及び実践交流等を進めていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	2	保育所費	230

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I : 事業概要

施策事業名	民間保育所保育						
事業目的	民間保育所の運営を助成・支援する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 民間保育所の入所児童の福祉向上と職員の処遇及び施設運営の改善を図る。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所運営 市全体の入所希望に対応するため、一部を民間保育所に委託し保育を実施 ○民間保育所運営補助 民間保育所の職員人件費、管理費、整備費への補助 延長保育、一時保育、低年齢児途中入所円滑化事業等への補助 ●主な決算の内訳 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・保育園運営費委託料</td> <td style="text-align: right;">293,635,540円</td> </tr> <tr> <td>・民間保育所運営費補助金</td> <td style="text-align: right;">14,369,000円</td> </tr> <tr> <td>・民間保育所事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">18,973,200円</td> </tr> </table> 	・保育園運営費委託料	293,635,540円	・民間保育所運営費補助金	14,369,000円	・民間保育所事業費補助金	18,973,200円
・保育園運営費委託料	293,635,540円						
・民間保育所運営費補助金	14,369,000円						
・民間保育所事業費補助金	18,973,200円						
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所2施設に保育事業を委託し、市全体の入所希望に対応できた。 ・国の示す公定価格改定に合わせ運営費委託料等算定について適切に対応すると共に、各種補助金についても適切に執行することができた。 						

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

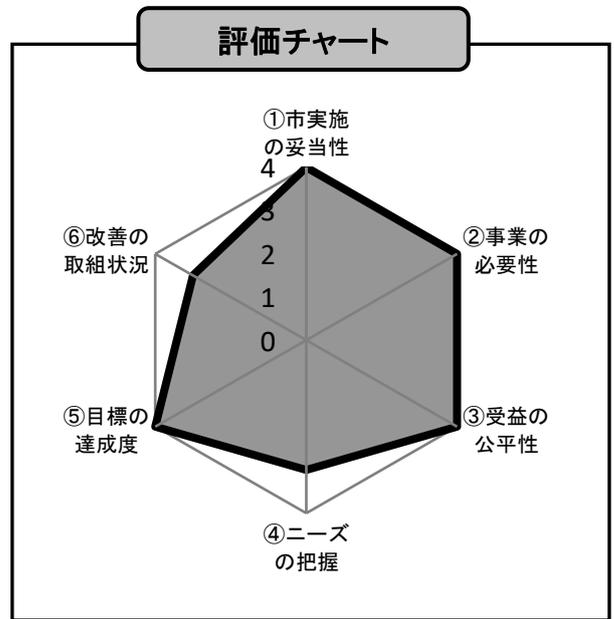
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
民間保育所運営	293,636	210,200	83,436	28%	3	3	4
民間保育所運営補助	40,830	21,460	19,370	47%	3	3	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	334,466	231,660	102,806	31%	3	3	4

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		315,124	334,466	316,061
財源内訳	国県支出金	180,119	209,373	194,992
	地方債	0	0	0
	その他	25,081	22,287	22,814
	一般財源	109,924	102,806	98,255
一般財源の割合		35%	31%	31%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき実施
②事業の必要性	4	保育運営を委託し、保育ニーズに対応できている。
③受益の公平性	4	保育を必要とする世帯の多くがその恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	第1期犬山市子ども計画策定時においてアンケート調査を実施し、ニーズを把握している。
⑤目標の達成度	4	民間保育への補助により、職員の処遇向上及び施設の運営改善を図ることができ、待機児童の発生を回避することができ、目標は達成できた。
⑥改善の取組状況	3	公立保育所と同様に保育運営を適切に実施できた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	国の公定価格の改定に伴う、委託料及び補助金の見直しを実施
令和7年度に見直しを実施している事項	国の公定価格の改定に合わせた委託料及び補助金執行額の反映
今後見直しを検討する事項	公立保育所と同様に、国の制度改革への対応について情報共有をしていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
国の制度改革に伴う対応 (公定価格や補助制度など)	制度改革への対応及び市の方針について他市町村との情報共有を行うとともに、速やかな国の動向等の把握を行う。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	2	保育所費	230

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I : 事業概要

施策事業名	病児保育
事業目的	児童が病気又は回復期にあって、集団保育ができず、家庭での看護もできない場合において、病院等の専用スペースで一時的に保育を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 令和5年度 病児保育整備事業 令和6年度～ 病児保育運営事業 ●主な事業内容 市内在住の1歳から小学3年生までを対象に、社会医療法人志聖会 総合犬山中央病院内「みどりの園」を実施場所として、事業委託により病児保育を実施 ●主な決算の内訳 病児保育事業委託料 8,037,000円
事業の成果・効果	令和6年4月より事業開始することができた。 利用者からの声においても「病気中の児童の預け先があって助かった」などの意見をいただき適切に事業を進めることができた。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

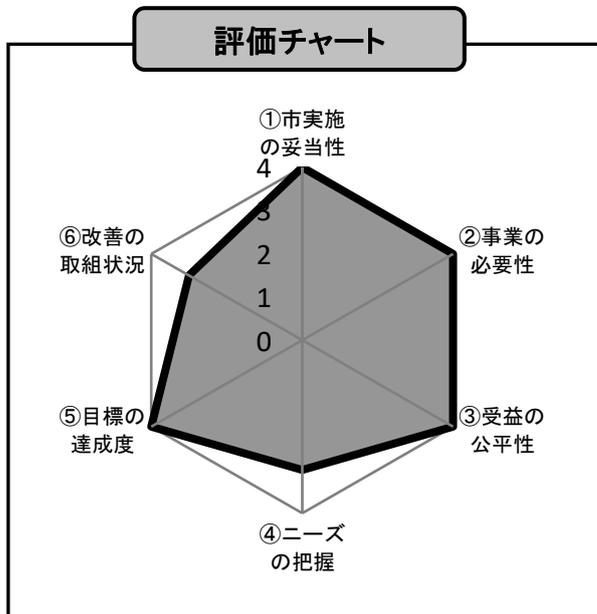
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
病児保育	8,037	8,037	0	0%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	8,037	8,037	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		22,815	8,037	9,443
財源内訳	国県支出金	15,210	5,358	6,294
	地方債	0	0	0
	その他	7,605	2,679	166
	一般財源	0	0	2,983
一般財源の割合		0%	0%	32%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	児童福祉法第6条の3第13項に規定する事業である。
②事業の必要性	4	就労する保護者からの永年の要望を受け実現した事業であり今後も継続が必要な事業である。
③受益の公平性	4	就労する保護者が、子どもが病気の際利用する保育事業であり、どの保護者も利用する可能性もありその恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	第1期犬山市こども計画策定時においてアンケート調査を実施し、ニーズを把握している。
⑤目標の達成度	4	令和6年4月より事業開始することができた。
⑥改善の取組状況	3	令和6年4月より事業開始することができた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	特になし
令和7年度に見直しを実施している事項	利用者の感想を含めアンケート調査を実施する
今後見直しを検討する事項	利用者の利便性の向上を図るため、利用者（保護者）ニーズの把握を行う。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
利用者の利便性について分析する必要があるが、事業を委託している医療機関との調整が必要である。	アンケート調査結果を基に、医療機関と協議し改善に向けた検討を進めていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	2	保育所費	230

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I：事業概要

施策事業名	(仮称) 新橋爪・五郎丸子ども未来園建設
事業目的	子ども未来園施設整備10ヶ年計画に基づき、橋爪・五郎丸子ども未来園を統合し、令和7年4月開園を目指し保育園整備事業を進める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度～令和4年度 基本設計・造成実施設計 令和4年度 上下水道工事、地質調査 令和4年度～令和5年度 実施設計 令和5年度 用地購入、造成工事 令和5年度～令和6年度 建築工事 令和6年度 外構工事、備品購入、旧園舎解体設計 令和7年度 新園開園、旧園舎解体工事、外構工事（芝生化第2期） ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・橋五子ども未来園建築工事（その1） 686,342,300円 ・橋五子ども未来園建築工事（その2） 157,353,900円 ・橋五子ども未来園外構工事 74,239,000円 ・旧園舎解体工事設計業務委託料（2園分） 4,955,500円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・橋五子ども未来園建築工事・外構工事が完了。園舎が完成し、令和7年4月の開園準備を行った。 ・二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を活用した県内初のフルZEB園舎となった。 ・完成式典・内覧会を実施し、市民の方々や関係者に広く橋五子ども未来園を周知できた。また、本事業が新聞等に掲載され、当市の子育て施策を広くアピールすることができた。 ・旧園舎で課題であった乳児の保育環境の未整備や駐車場不足等に対応でき、多様化する保育ニーズに対応した保育の提供ができる体制となった。

II：個別事業内訳

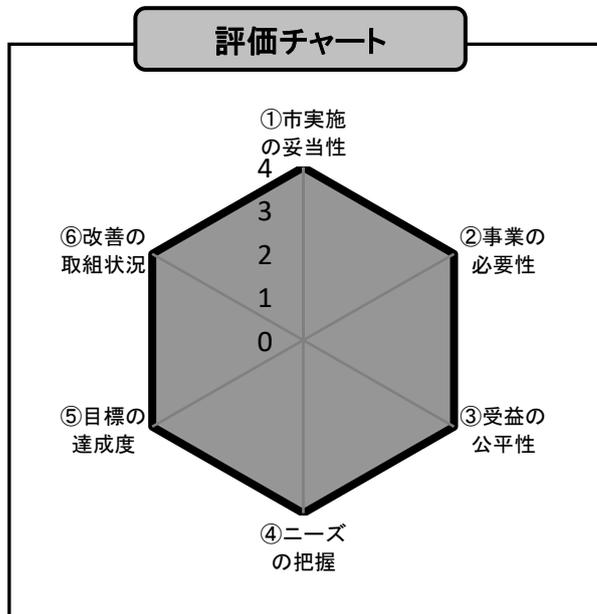
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
(仮称) 新橋爪・五郎丸子ども未来園建設	992,164	780,429	211,735	21%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	992,164	780,429	211,735	21%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		748,178	992,164	137,324
財源内訳	国県支出金	0	64,481	2,827
	地方債	410,600	659,900	0
	その他	155,388	56,048	134,497
	一般財源	182,190	211,735	0
一般財源の割合		24%	21%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	現在の橋爪及び五郎丸子ども未来園は、地区計画により公園用地として決定され、移転する必要があったため。また、2園とも共に設置から40年以上経過しており、「子ども未来園施設整備10ヶ年計画」でも優先的の事業として明記されている。
②事業の必要性	4	児童福祉法に基づき保育業務の継続の必要性がある。
③受益の公平性	4	現在の橋爪及び五郎丸子ども未来園を統合し整備することから当該園の在園児は対象となる事業である。
④ニーズの把握	4	建設予定地周辺、在園児保護者、周辺町内会に対し説明会を実施し、ご意見をいただくとともに、その対応策についても、町内回覧、市のホームページにて公開する。
⑤目標の達成度	4	スケジュールどおり実施することができた。
⑥改善の取組状況	4	事業の進捗について、ホームページにて写真掲載などで公開し周知できた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	園庭の芝生化は、園児の遊びやイベント実施のため、2期にわけて実施していく必要があるが、2期芝生化工事(R7)で、重機や搬入車両の通行が可能となるように、第1期芝生化工事(R6)の施工箇所を変更した。
令和7年度に見直しを実施している事項	在園児童数が市内公立保育園で最大となるため、主任保育士(副園長的役割)を2名配置した。(他園は1名配置)
今後見直しを検討する事項	適正な施設管理のため、点検結果等を有効に活用し、効率的な施設の修繕等を行っていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金は、事業完了後5年間の事業報告書の提出が必要になるため、進捗管理やデータの適切な保存・報告を実施していくことが求められる。	委託業者との連携を深め、報告データのテスト実施も含め、適正に国に報告していく。市実施のデータ保存・報告等においては、橋五子ども未来園所属の職員、複数人の担当職員が実施できるようにし、不測の事態に備え、国への報告漏れがないようにする。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	2	保育所費	234

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I：事業概要

施策事業名	保育施設等利用料扶助
事業目的	少子化対策を推進する一貫として、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、市町村の確認を受けた施設等の利用に対して給付を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 認可外保育施設、預かり保育事業等、多子世帯子育て支援の利用に対して給付を行う。 ●主な事業内容 次の保育施設及び事業の利用に係る保護者負担に対し扶助費を給付 認可外保育施設 一時預かり保育 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設等利用料扶助費 4,458,660円 ・一時預かり保育利用料扶助費 7,005,775円 ・多子・多胎世帯子育て支援事業認可外保育施設利用等扶助料 1,517,030円
事業の成果・効果	幼児教育・保育無償化制度に伴う、認可外保育施設等利用料等に対する扶助費の給付を適切に執行できた。

II：個別事業内訳

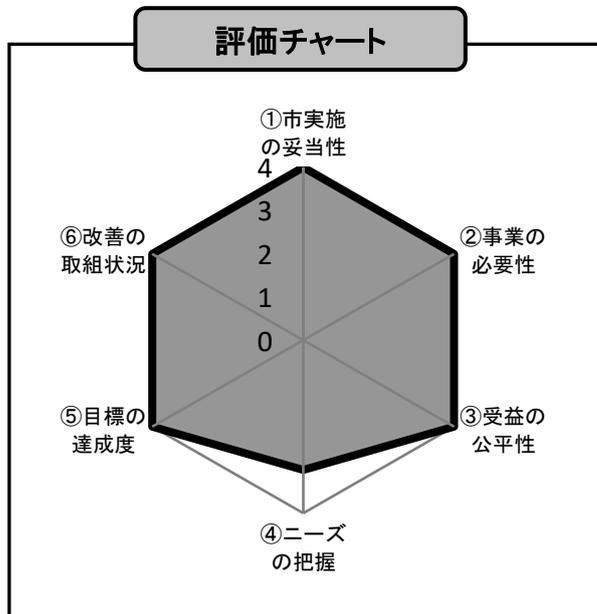
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
保育施設等利用料扶助	12,981	10,324	2,657	20%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	12,981	10,324	2,657	20%	4	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		11,665	12,981	14,328
財源内訳	国県支出金	8,388	8,812	9,233
	地方債	0	0	0
	その他	1,512	1,512	0
	一般財源	1,765	2,657	5,095
一般財源の割合		15%	20%	36%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	子ども・子育て支援法に基づき「幼児教育・保育無償化」に伴い実施するもの。
②事業の必要性	4	子ども・子育て支援法に基づき「幼児教育・保育無償化」に伴い実施するものであり継続して実施すべき事業である。
③受益の公平性	4	国の制度により、3歳から5歳までの全ての子どもと3歳未満児の非課税世帯の子どもが対象となり公平性があるといえる。
④ニーズの把握	3	国の制度に基づき認可外施設からの利用者報告もありニーズは把握できている。
⑤目標の達成度	4	施設利用者（保護者）に対し適切に償還払を実施できた。
⑥改善の取組状況	4	国の制度の認知度も定着し適切に処理できている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	特になし
令和7年度に見直しを実施している事項	特になし
今後見直しを検討する事項	特になし

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
認可外保育施設へ通う児童の把握は、市ではできないため保護者及び施設からの申請が主となり、制度の周知方法が課題である。	幼児教育・保育無償化に伴う制度であり、令和元年10月より国の制度として開始されたものだが、制度周知については一定の周知は図られているものと理解する。しかし、さらなる周知は必要であると認識している。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
3	2	4	こすもす園費	238

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I : 事業概要

施策事業名	児童発達支援事業実施施設
事業目的	こすもす園（心身障害児通園施設）を適切に管理・運営し、児童発達支援等の事業を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・こすもす園で日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○こすもす園管理 <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に規定する市内の障害児とその保護者に対し、自主性と社会性を高め日常生活への適応能力の増進を図るため、通園による集団療育の場を提供 言語訓練士等報償金 3,224,700円 ○こすもす園営繕 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の機能を維持するため必要な営繕を実施 R6年度 施行なし
事業の成果・効果	<p>発達心配な子どもへの療育や専門的な訓練を実施し、子の成長を促した。 親子療育を通し、保護者が支援方法を学ぶ場を提供することで、親子の愛着関係の形成や安定につながり、障害を持つ子どもの子育ての一助となった。</p>

II : 個別事業内訳

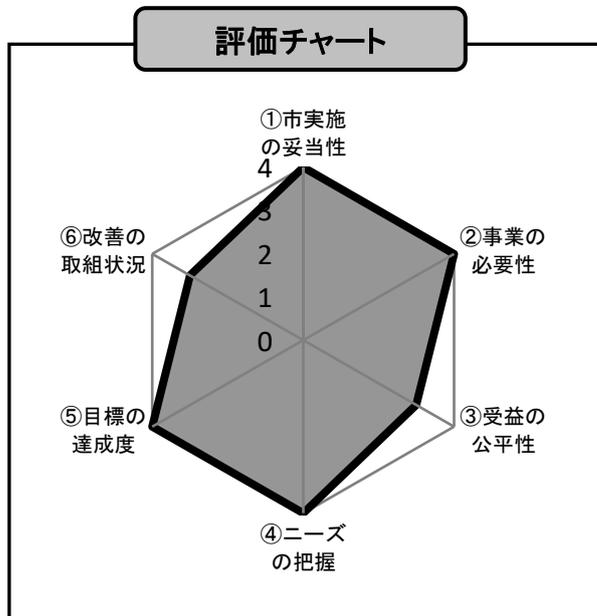
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
こすもす園管理	4,786	4,785	1	0%	3	3	3
こすもす園営繕	0	0	0	-	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	4,786	4,785	1	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		4,903	4,786	6,266
財源内訳	国県支出金	3,627	4,575	4,455
	地方債	0	0	0
	その他	212	210	267
	一般財源	1,064	1	1,544
一般財源の割合		22%	0%	25%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	児童福祉法に規定する事業である。
②事業の必要性	4	親子通園の事業所は少ない中、障害児とその保護者に対し集団療育の場を提供できる事業として継続すべき事業である。
③受益の公平性	3	療育を必要とする児童を対象とした事業である。
④ニーズの把握	4	職員による「自己評価」と保護者等による「事業所の評価」の意見を踏まえ、事業所全体の評価を毎年実施している。
⑤目標の達成度	4	対象児童及びその保護者に対し、適切に療育等の支援を実施した。
⑥改善の取組状況	3	事業所評価をもとに改善に取り組んでいる。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	法改正に即した福祉サービスの利用方法の見直し、実施
令和7年度に見直しを実施している事項	訓練士との連携を強化し、子どもの見方や専門的な知識を深め、療育の質を向上する。
今後見直しを検討する事項	一人一人の子どもの姿と保護者の状況に合わせた就園時期の決定

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
職員の質の向上 児童発達支援管理責任者の資格取得者を確保する。	職員の質の向上を目指した研修等の実施

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
9	4	1	幼稚園費	360

部局名	健康福祉部
課名	子ども未来課

I：事業概要

施策事業名	幼稚園一般管理
事業目的	犬山幼稚園の管理並びに市内在住児童が通う市外の幼稚園へ幼児教育・保育の一元化及び無償化に基づき給付を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 幼稚園において、就学前の教育を実施し、必要な児童に対して教育時間終了後の預かり保育を実施する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園管理 犬山幼稚園を適切に管理運営 ○幼稚園給食 犬山幼稚園において、安心、安全な給食を提供 ○幼稚園教育補助 施設等利用給付認定を受けた私立幼稚園在園児の授業料等を給付 ○私立幼稚園助成 私立幼稚園教育の振興と幼児福祉の増進を目的とした事業へ補助 ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ○犬山幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理業務委託料 8,817,600円 ○その他の私立幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施設等利用給付費 168,805,147円 ・私立幼稚園給食費補助金（実費徴収分及び多子多胎子育て支援事業費分）6,461,590円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園の適切な運営及び維持管理を行うことができた。 ・幼児教育・保育無償化に伴い、子ども・子育て支援新制度未移行園である私立幼稚園に通う児童の授業料について、施設からの請求により適切に執行することができた。

II：個別事業内訳

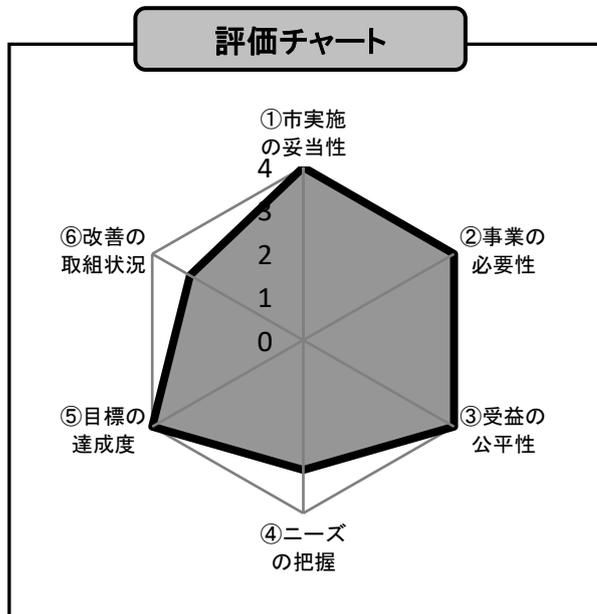
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
幼稚園管理	5,213	300	4,913	94%	3	3	3
幼稚園給食	11,822	2,035	9,787	83%	3	3	3
幼稚園施設営繕	0	0	0	-	3	3	3
幼児教育補助	175,267	145,765	29,502	17%	3	3	3
私立幼稚園助成	733	0	733	100%	4	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	193,035	148,100	44,935	23%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		229,899	193,035	215,456
財源内訳	国県支出金	158,612	143,003	143,728
	地方債	0	0	0
	その他	4,697	5,097	3,100
	一般財源	66,590	44,935	68,628
一般財源の割合		29%	23%	32%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	学校教育法に基づき設置
②事業の必要性	4	幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与え、心身の発達を助長することを目的とするものであり、事業の継続は必要である。
③受益の公平性	4	幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としており、その多くの児童は恩恵を受けている。
④ニーズの把握	3	第1期犬山市こども計画策定時においてアンケート調査を実施し、ニーズを把握している。
⑤目標の達成度	4	公立幼稚園の適正な運営及び維持管理ができた。 他の幼稚園は、幼児教育・保育無償化に伴う授業料等の請求に基づき適切に執行できた。
⑥改善の取組状況	3	未就園児対象の子育て広場を毎月2回実施した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	犬山幼稚園の保育内容、幼稚園の良さを周知するため、未就園児対象の子育て広場の開催日数を毎月1回から2回へ増
令和7年度に見直しを実施している事項	犬山幼稚園の事業運営方針についての方向性を決定
今後見直しを検討する事項	犬山幼稚園の事業運営方針についての方向性を決定

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
犬山幼稚園の今後の継続の可否	犬山幼稚園の今後のあり方、方向性について、令和7年夏頃を目途に示していく。